

ローマンタンでは王室が運営する迎賓館ホテルを確保 暖房完備で快適な滞在です

道路事情と共に、ローマンタンが紹介できる要因はホテルが完成したことです。今まではロッジのみであったため、暖房設備、お湯を供給できる設備を持つ宿泊施設がありませんでした。4、5月であっても最低気温は0℃以下になる場所ですので、暖房、温水は不可欠です。今までは寝袋持参でロッジ泊を余儀なくされていましたが、このたびローマンタンに旧王室が運営する、ホテル兼迎賓館「ロイヤル・ムスタン・リゾート」が完成。暖房、温水を気にせずに宿泊できる設備が誕生しました。ホテルでは旧王室の皇太子も、ホテルスタッフとしてお客様のお世話にあたっています。「もう、王政は終わりました。自分もホテルのスタッフとして、皆様をお迎えし、素晴らしいチベット文化の残る、ローマンタンを楽しんでほしいです」と、話していました。今回の視察ではツァラン村の「マヤズ・ヘリテージ・イン」ホテルも見てきました。快適なホテルで、聞けば「ロイヤル・ムスタン・リゾート」の親戚だとのこと。この2つの「ロイヤル・ホテル」を利用することにより、ムスタンへの旅が大きく広がりました。



チベット建築で統一されたロイヤル・ムスタン・リゾートのロビーと客室 (イメージ)



旧ムスタンの皇太子(左)とホテルスタッフ



ツァランのホテル「マヤズ・ヘリテージ・イン」

【ご宿泊ホテル】

- カトマンズ (1日目) (5月19日福岡発=1、2日目): ザ エベレスト ホテル
- ポカラ (2日目) (5月19日福岡発=3日目): ポカラ グランデ
- ジョムソン: ホテル オムズホーム
- ツァラン: マヤズ・ヘリテージ・イン
- ローマンタン: ロイヤル・ムスタン・リゾート
- ポカラ (8日目) (5月19日福岡発=9日目): ホテル アンナブルナビュー
- カトマンズ (9日目・デユース) (5月19日福岡発=10日目): ザ エベレスト ホテル

※地域の特性や施設の事情により、原則バスタブが無く、シャワーのみとなります。
※ホテルは改善されたとはいえ、地柄、客室の設備など全体的に簡素となります。
給湯施設も、日本に比べますと熱いお湯が出づかったり、水圧が弱い場合がございます。



旅の最後はホテル アンナブルナビューに宿泊です

●この書面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。)&及び税・サービス料金
 - ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
 - ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
 - ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
 - ⑧ 団体行動時の必要な心付け
 - ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、同通行税、同空港利用料
 - ⑩ その他(パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの)
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

- 上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
 - (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
 - (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
 - (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
 - (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。
- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について: ●=入場観光 ○=下車観光 ㊦=ユネスコ世界遺産
- お食事: 朝=朝食 昼=昼食 タ=夕食 機=機内食 □=食事なし ㊦=軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
- 乗り物: ●=航空機 ㊦=バス ㊦=列車 ㊦=自動車 ㊦=船 ㊦=ロープウェイ

●パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけるよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を発着地とする募集型企画旅行契約	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を発着地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取 消 料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内にお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2023年12月1日現在の運賃・料金を基準としております。

心に残る高品質な旅 WORLD ネパール待望の新コース

禁断のムスタン王国への旅

2024

4→5

成田発
10日間

福岡発
11日間



チベット文化圏最後の秘境、かつてのムスタン王国の首都ローマンタン

ホテルの完成、道路事情の改善により遂にツアー化。憧れのムスタン王国ローマンタンへ ヒマラヤの禁断の王国・ムスタンへの旅 10日間

チベット文化圏最後の秘境 河口慧海ゆかりの村へ



チベット文化圏最後の秘境とも言われるローマンタン



旧市街の中心に位置する王宮



アニ・ゴンパで大切にされる河口慧海像、隣には着物を着た像も

ここにご注目。旅のポイント

- ❶ 道路事情、ホテル事情が大きく改善。遂に紹介できるようになった、ムスタン王国。憧れのローマンタンへ
- ❷ まさに「屋根のないチベット文化博物館」城壁都市ローマンタン。途中の村を含め、チベットの原風景を堪能
- ❸ ダウラギリ峰、ニルギリ峰、そしてアンナプルナ連峰。8000メートル級のヒマラヤ連峰の風景に感動

ツアープランナーより

仏教の原点を求めたいという気持ちから、嚴重な鎖国状態にあったチベットへ単身入国。その志からまさに「日本の玄奘三蔵」と呼ばれた、明治時代の僧侶、河口慧海。その河口慧海がチベットを目指し、滞在したのがムスタンでした。その後、チベットはネパール、中国、ブータンなどの複数の国に分断され、2008年までネパール領ムスタン自治王国として、ほぼ鎖国状態を続けてきました。

ネパール領になり外国人の訪問が許可されましたが、宿泊施設は山小屋のようなロッジのみ、道路も所々が寸断され、ロバによる移動を含めて、首都ローマンタンまで3日間を要するというので、ツアーで紹介するのは難しい状況でした。

そんなネパールから、ローマンタンへの道路が整備され、ローマンタンに初めてのホテルが完成したという朗報が入り、訪問が難しくなる冬季に入る前に急いで現地視察を断行。道路事情、ホテル事情、食事、標高などの検証を終え、春を迎えると同時に発表させていただくこととなりました。コロナ禍を経て、海外旅行に明るい話題が無かった中で、久しぶりに旅好きの方に自信をもってお勧めできる新訪問地の登場です。まさに「屋根のないチベット文化の博物館」、憧れのムスタン王国ローマンタンへの旅の実現です。観光客が増える前に、ぜひ訪問したい地としてご紹介いたします。（東京支店 春名釈）

テントや寝袋持参の難行苦行からの解放 改善された道路事情 ムスタン絶景街道



ジョムソンから利用する4WD車。8つの峠を越えて行きます

数年前まで自動車道路が通じておらず、ところどころ徒歩を含めて、ほぼ3日かかっていたジョムソンからローマンタンまでの行程が、14時間ほどに短縮。実際に走ってみると、簡単な休憩を取るだけで、約6時間で走ることが出来ました。全行程未舗装ではありますが、道路幅は通常の自動車が減速せずに行き違えるほどの広さがあります。感動なのはその風景の素晴らしさです。両側には6000メートル級の山々が続き、遠方には7000メートルを超えるアンナプルナ連峰や8000メートルを超えるダウラギリ峰が連なりすべてが絶景の連続です。



帰路はアンナプルナ連峰を北側から眺めながらドライブです

チベット文化の語り部として日本語案内人が同行します

ローマンタン在住で、日本の企業で研修をしていた関係で、日本語が堪能な日本語が出来るグルンさん兄弟が案内人をお引き受けいただきました。ガイドのいないツァラン村や、洞窟住居群チョサルへの同行も快諾。ネパール人のスルーガイドとともに、ムスタン王国を紹介いたします。



ローマンタンの日本語案内人グルンさん兄弟に文化や生活などについてもお話しいたします

ご宿泊ホテルは裏面をご覧ください

利用予定航空会社：成田発／ロイヤルネパール航空			福岡発／キャセイパシフィック航空		ツアーコード：IH103T	
集合・日数・出発日			旅行代金			
【成田空港集合・10日間】 4月13日(土)，20日(土) 5月11日(土)，25日(土)			エコノミークラス利用 ¥798,000		ビジネスクラス利用 ¥1,098,000	
【福岡空港集合・11日間】 5月19日(日)			エコノミークラス利用 ¥818,000		ビジネスクラス利用 ¥1,118,000	
1名室利用追加代金：¥100,000(5月19日福岡発11日間コースは¥110,000)						
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間【ネパール航空：成田発着 成田～カトマンズ間往復】 【キャセイパシフィック航空：福岡発着 福岡～香港～カトマンズ間往復】						
燃油サーチャージ別途目安：¥11,400 (ネパール航空利用) (12月1日現在) ※5月19日福岡発¥44,000 (キャセイ航空利用) (12月1日現在)						

ご旅行条件とご注意

- 最少催行人員：10名様 ■朝食8回、昼食8回、夕食9回 (5月19日福岡発着11日間コースは、朝食9回、昼食9回、夕食9回) ■添乗員：成田空港ご出発から、成田空港ご到着まで随行いたします。（5月19日発は、福岡空港ご出発から、福岡空港ご到着まで随行いたします。） ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上 ■査証代実費：4000円 (2023年12月現在) ■査証取得手数料：6,600円 (税込) ■証明写真写真：3枚 (縦4.5cm×横3.5cm。カラー写真、背景は白色。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。6か月以内に撮影されたもの。) ※1枚は査証用写真として、残り2枚はムスタン地域の入山許可証取得のために必要です。
- バスポート本体をお預かりします。
- 海外旅行保険の加入証明書 (英文) が必要となります。詳細はお問い合わせください。
- 当ツアーお申込についてのご注意：標高3000メートルを超える高地の旅となりますので、お申し込み時に「健康アンケート」ご提出を参加条件とさせていただきます。場合によって医師の診断書の提出をお願いいたします。予めご了承ください。また、ご旅行中のお客様においては、医師の診断・治療を必要とした場合、必要な措置を取ることがあります。場合によっては行程途中での旅行中止、あるいは帰国いただくこともございます。その際は当該添乗員の指示に従ってください。
- 高地滞在中のご注意：高山病に加え、飲酒、喫煙、急激な運動をお控えください。なお、万が一の為、酸素ボンベはジョムソンから持参いたします。
- 高地順応対策の一環として添乗員がパルスオキシメーター(携帯用の血中酸素濃度測定器)を持参し、高度順応の状態を把握するよう努めさせていただきます。
- 海外旅行保険加入をお願いします。万一、重度の高山病にかかれた際に、近くの病院で治療ができない場合は車やヘリコプター、セナ機等をチャーターするなど搬送や治療に多額の費用がかかる可能性があります。これらはすべてお客様負担となりますので、「治療・救護者費用」に対応した海外旅行保険のご加入をお願いいたします。また、ご旅行中のお客様に医師の診断、治療を必要と判断した場合は、それに必要な措置を取る場合がございます。場合によっては、行程途中で中止、あるいは帰国していただくこともございます。その際には会社、添乗員の指示に従ってください。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:00発→カトマンズ16:35着 (標高1400m)	成田空港より、ロイヤルネパール航空直行便(所要8時間40分)にて、ネパールの首都カトマンズへ。 着後、ホテルへ。夕食はホテルにて。	(カトマンズ泊) □機○夕
2	(ムスタン許可取得) カトマンズ午前発→パタン→カトマンズ午後→ポカラ午後着 (標高820m)	午前、ムスタン訪問の特別許可取得のため、カトマンズでの滞在。 お客様は、 世界遺産の古都パタン を見学します。 ●旧市街地区 ダールバール広場 、旧王宮内にある● パタン博物館 、 パタンの金閣寺 と言われる● 黄金寺院 の見学。 昼食後、国内線にてポカラへ。	(ポカラ泊) 朝○昼○夕
3	ポカラ午前発→ジョムソン午前着 (標高2810m)	早朝、 山岳フライト にて ジョムソン へ。アンナプルナ南峰(7219m)、ヒマラヤの高峰 ダウラギリ峰 (8172m)などを望む、 山岳フライト です。(注) ※山岳フライトが欠航の場合は、陸路移動となります。(9～10時間) 午後、四輪駆動車に分乗し、カリガンダキ川に沿った、 ジョムソン 谷周辺の観光。 河口慧海の小さな●博物館がある マルファ村 、河口慧海の滞在した家が残る トックチェ村 を訪れます。	(ジョムソン泊) 朝○昼○夕
4	(マルファ村) (トックチェ村)	朝、いよいよ四輪駆動車に分乗し(1台3名制)、ムスタン王国への旅に出発です。 午前、 下ムスタンの村 巡りにご案内します。 古い城跡やチベット寺院が残る カグベニ村 、仏教、ヒンドゥー教の聖地 ムクティナート村 を訪ねます。 昼食後、城塞が残る チェサン村 へ。ムスタン王国へのチェックポイントを抜け、 上ムスタン に入ります。 自然の岩が作り上げた絶景、○岩のトンネルを通り、カリガンダキ川に別れを告げて ダジュリ峠 を目指します。 ダジュリ峠 からは、 ダウラギリ峰 、 ニルギリ峰 が望めます。(注) 夕刻、河口慧海が10か月を過ごしたという、 ツァラン村 に到着です。	(ツァラン泊) 朝○昼○夕
5	(ガール・ゴンパ) ツァラン15:00発 ローマンタン16:00着 (3760m)	午前、ムスタン王国最古の寺院と言われる、● ガール・ゴンパ を訪ねます。 午後、 ツァラン村の見学 。● ツァラン・ゴンパ 、河口慧海像が大切に収められる● アニ・ゴンパ 、● 旧王宮 を訪ねます。 見学後、ロー峠を越え、かつてのムスタン王国の首都、 城壁都市ローマンタン へ。 宿泊は、ムスタン王家が経営し、今も王族の迎賓館となってる「ロイヤル・ムスタン・リゾート」での2泊です。	【2連泊】(ローマンタン泊) 朝○昼○夕
6	ローマンタン	午前、ローマンタンよりさらに北、中国領チベット自治区との国境にも近い、 洞窟住居群チョサル を訪ねます。○ 洞窟住居群 、● 洞窟寺院 などを訪問。 午後、「 薬草の豊かな町 」という意味がある、 城壁都市ローマンタンの見学 。 ○ ローマンタン旧市街の散策 、○ ローマンタン王宮 、3つの寺院● チョエデ・ゴンパ 、● トップチェン・ゴンパ 、● ジャンパ・ゴンパ を見学。	(ローマンタン泊) 朝○昼○夕
7	ローマンタン08:00発→(ツァラン村) (ガミ村) ジョムソン16:00着	午前、 再び四輪駆動車に分乗し、ムスタン街道をジョムソンに戻ります。 帰りは、 アンナプルナ連峰の北側を望みながら、6000メートル級の山々の間を走る、絶景の眺めが楽しめます。 (注) 途中、 ツァラン村にて早めの昼食 。 その後、ネパールの村の原風景を残す ガミ村の散策 を楽しみます。 午後、ヒマラヤの絶景を楽しみながら、 ジョムソンに戻ります。	(ジョムソン泊) 朝○昼○夕
8	ジョムソン午前発→ポカラ午前着 (ホテルアンナプルナビュー)	早朝、 山岳フライトにてポカラへ戻ります。 ※山岳フライトが欠航の場合は、陸路移動となります。(9～10時間) 着後、ポカラにて自由行動。 宿泊は、サラコットの丘に建つ高級ホテル「ホテル アンナプルナビュー」です。 (ポカラ/ホテル アンナプルナビュー泊)	朝○昼○夕
9	ポカラ午前発→カトマンズ午前着 (ホテルにて休憩) カトマンズ23:25発→	午前、国内線にてカトマンズに戻ります。 昼食は、評判の日本そばの店「ヒマラヤ蕎麦処」にて、久しぶりの日本の味をお楽しみください。 昼食後、自由行動。 夕食前までホテルをお取りしております。 夕刻、ホテルをチェックアウトし、ホテルのレストランにて夕食。夕食後、カトマンズ空港へ。 夜、ロイヤルネパール航空直行便(所要6時間20分)にて帰国の途へ。	(機中泊) 朝○昼○夕
10	成田空港09:00着	午前、成田空港に到着。 お気をつけてお帰りください。	機□□□

(注) 天候によりご覧いただけない場合もございます。予めお含みおきください。 ※ポカラ～ジョムソン間の国内線航空機は小型飛行機のため、1人15kgに制限されており。荷物は軽装で、大型のスーツケースは持参いただけません。 ※天候により、ポカラ～ジョムソン間の航空便が欠航となる場合は、ポカラまたはジョムソンより四輪駆動車にて移動します(片道約9～10時間)。 ※上記日程表は、成田空港発着のものとなります。

■5月19日発は、福岡空港発着・キャセイパシフィック航空利用で、カトマンズ宿泊が1日多い11日間コースとなります。

【1日目】	福岡空港14:00発 / 香港空港16:45着、19:10発 / カトマンズ空港22:10着 (カトマンズ泊)
【2日目】	■午前、ムスタン訪問の特別許可取得のため、カトマンズでの滞在です。■お客様は、カトマンズ盆地の古都パタンを見学します。●旧市街地区ダールバール広場、●パタン博物館、●黄金寺院の見学。(カトマンズ泊)
【3日目】	■国内線にてポカラへ。■着後、●国際山岳博物館。その後ベフ湖、湖畔の観光です。(ポカラ泊)
【4日目～10日目】	上記、成田発着の3日目～9日目、カトマンズ空港まで同様です。カトマンズ空港23:20発 (機中泊)
【11日目】	香港着06:10着、08:15発 / 福岡空港12:50着